

VMware vRealize Operations

物理 / 仮想 / クラウドなどインフラ全体でインテリジェントな運用管理が可能に

概要

VMware vRealize™ Operations™ では、物理、仮想、およびクラウド インフラストラクチャ全体をインテリジェントに運用管理できます。vSphere 以外のハイパーバイザーや、Amazon Web Services のようなパブリック クラウドにも対応しています。操作性に優れた統合管理ツールを使用してアプリケーションとストレージのデータを関連付け、プロアクティブな対応を可能にする予測分析とポリシーベースの自動化を活用することで、パフォーマンス、キャパシティ、および構成を制御できます。

主なメリット

- 発生しつつあるパフォーマンス、キャパシティ、および構成の問題をプロアクティブに特定して修正
- アプリケーションおよびインフラストラクチャを単一のコンソールで包括的に確認
- キャパシティの最適化とプランニングの自動化
- インテリジェントなワークロードの調整
- 標準構成の適用によるコンプライアンスの維持
- 既存のリソースを活用できる拡張性に優れたオープンなプラットフォームと、Microsoft 社、SAP 社などの製品に対応するサードパーティ製管理パック

VMware vRealize Operations について

従来型の運用管理システムは、今日の仮想およびクラウド インフラストラクチャの要件を満たしていません。アプリケーションやインフラストラクチャ スタック全体の指標を統合、関連付け、および分析するインテリジェントな機能が存在しないため、IT 部門は問題が発生してから対応に追われることになります。

vRealize Operations は、拡張性と耐障害性に優れたプラットフォームを基盤としており、インテリジェントな運用情報を提供します。vSphere、Hyper-V、Amazon Web Services (AWS) などに対応しており、仮想、物理、およびクラウド環境全体にわたって、アプリケーションとインフラストラクチャ管理を簡素化および自動化します。

vRealize Operations では包括的な視認性が提供され、アプリケーションやインフラストラクチャの状態を中央から確認できます。これにより、企業の規模を問わず、IT 部門によるパフォーマンスの向上、ビジネス継続性の維持、効率性の向上が可能です。

vRealize Operations のメリット

- インテリジェントな運用：**アプリケーションおよびインフラストラクチャの健全性に関する自己学習型ツール、予測分析機能、インテリジェントなワークロード管理機能、スマート アラートによって、パフォーマンス、キャパシティ、および構成についての顕在化しつつある問題を事前に特定して修正できます。
- ポリシー ベースの自動化：**重要な IT 運用に対応し、すぐに使用できるカスタマイズ可能なポリシーが用意されています。これらのポリシーは、スマート アラート、修正機能、コンプライアンスチェック機能に自動的に適用されます。
- 統合管理：**Microsoft 社、SAP 社などのサードパーティ製管理パックをサポートする、拡張性の高いオープンなプラットフォームにより、アプリケーション、ストレージ、およびネットワーク デバイス全体を単一のコンソールで詳細に確認できます。

詳細情報

VMware 製品をご購入、または詳細情報については、次の製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

製品仕様とシステム要件の詳細については、次の Web サイトから、VMware vRealize Operations のドキュメントを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vrealize-operations>



仮想およびクラウド インフラストラクチャの運用管理の自動化

vRealize Operations			
単体製品のエディション (OSI 単位のライセンス)	Standard	Advanced	Enterprise
本製品を含む VMware のスイート (CPU 単位のライセンス)	VMware vCloud Suite® Standard	vCloud Suite Advanced	vCloud Suite Enterprise
	VMware vSphere® with Operations Management™	VMware vRealize™ Operations Insight™	vRealize Suite Enterprise
VMware vRealize™ Suite Advanced			
主な機能			
運用管理プラットフォーム			
プロアクティブな分析機能とスマート アラート機能	○	○	○
ポリシー管理	○	○	○
ガイド付き修正機能	○	○	○
修正の自動化		○	○
カスタマイズ可能なダッシュボードとレポート機能		○	○
スケールアウト可能なプラットフォーム	○	○	○
組み込みの高可用性機能 (プラットフォーム ノードの自動フェイルオーバー)		○	○
パフォーマンスの監視および分析			
vSphere のパフォーマンスおよび健全性の監視	○	○	○
アプリケーションの検出と依存関係のマッピング		○	○
OS の監視 (物理 / 仮想環境の Windows、Linux、Solaris など)		○	○
アプリケーション、ミドルウェア、およびデータベースの監視 (Microsoft、Oracle、SAP など)			○
ワークロード管理			
ワークロード バランスのプランニング		○	○
ワークロードの移動	○	○	○
リバランスの実行		○	○
キャパシティ使用率ダッシュボード	○	○	○
キャパシティ管理			
vSphere のリソースの監視、プランニング、最適化	○	○	○
キャパシティ モデル ベースの分析		○	○
変更、構成、およびコンプライアンス管理			
vSphere のセキュリティ強化とコンプライアンス	○	○	○
オペレーティング システム レベルの構成および規制への準拠 (PCI、HIPAA、SOX など)			○
拡張性			
サーバ、ストレージ、およびネットワーク監視ツール用のサードパーティ製管理パックによる拡張		○	○
アプリケーションおよびデータベース監視ツール用のサードパーティ製管理パックによる拡張			○

サードパーティ製管理パックで、vRealize Operations をさらに活用できます。vRealize Operations の管理パックおよび拡張機能の一覧については、次のサイトを参照してください。 <https://solutionexchange.vmware.com> (英語)

